

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (  可 ・  否 )

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) 生 業	(ふりがな) なりわい	
地域独特の呼び方	—	—	
タイトル	炭焼き ③		
伝承地域	飯舘村大倉 (村一円)		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 木炭には炭質により「白炭」と「黒炭」がある。「白炭」は 1,300 度の高温で焼き真っ赤な炭を取り出し「す灰」をかけて火を消し、「黒炭」は 400～700 度で焼き火が消えてから取り出す。大倉地区では炭質の固い白炭が主であった。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) 窯底ができたところで、窯の腰を造る。粘土と石とで自分の好みに丸に造っていく。尻窯作りが大事で、これは炭窯の煙突のことである。尻窯は、窯の命であり、これが悪くてはどのようにもならないので、専門家に見てもらいたいこともある。 窯の腰、煙突、焚き口ができると、次は、鉢上げである。鉢は、窯の天井で、弓なりに曲がった棟木を見つけて窯の腰に据える。この棟木に適当な長さに伐った木を並べて骨組みを作り、下からつかえ棒をたてる。骨組みの上に、細長い三角形の石と粘土を使って積み上げる。鉢上げが終わると、山の神様に御神酒と餅を供えて鉢上げ祝いをする。お祝いが終わると、尻窯と戸前造りをする。窯に火をたき、窯全体を焼き固める。この時、鉢の押さえ木やつかえ棒も焼き払う。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	飯舘村教育委員会	電話 0 2 4 4 - 4 2 - 1 6 1 1	

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	⋮	※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。	
	性別・年齢	男 ・ 女		歳
	住所・電話	〒		電話
	職 業			
団体	団体名 (ふりがな)	⋮		
	代表者氏名 (ふりがな)	⋮		
	団体の設立年月日	明治・大正・昭和・平成	年 月 日	
	問い合わせ先		電話	

【フリーフォーマット】

キーワード



(飯舘村教育委員会)